

- 1 事業名
平成29年度教育事業「体験の風をおこそう」運動協賛事業 テンパークまつり2017
- 2 趣旨(事業の目的)
岩手山青少年交流の家(テンパーク)を広く地域に開放し、当施設の様々な活動プログラムなどの体験を通して、施設の理解と利用の促進を図ると共に震災復興に立ち向かっている県民の元気回復に寄与する。
- 3 期日
平成29年9月24日(日) 9:00 ~ 15:30
- 4 参加者
2,014名
- 5 後援
岩手県教育委員会 盛岡市教育委員会 滝沢市教育委員会
- 6 協力
ユーレストジャパン株式会社, ファーム仁王, りんりん舎, みのりホーム, みどり学園(和太鼓), 岩手県立大学 ROPE A DOPE(ダブルダッチ), 盛岡大学 もうかの星(よさこい踊り), イーハトーヴ(一輪車), 元村こどもさんさ愛好会, 国立花山青少年自然の家, 国立磐梯青少年交流の家, 国立那須甲子青少年自然の家, 岩手県立県南青少年の家, 岩手県立県北青少年の家, 滝沢市商工観光課・チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部(チャグチャグ馬コ)
- 7 協賛
(株)浅沼工務店, (社)岩手県薬剤師会検査センター, 岩手トヨタ自動車(株), 岩手トヨペット(株), (株)いんべりネンサプライ, 北岩手環境保全, コセキ(株)盛岡営業所, (株)小山商会盛岡営業所, (株)三機商事, (株)三幸堂ビジネス盛岡店, 松栄商事(株), 東北ビル管財(株), (株)トライス, 杜陵高速印刷(株), (有)二和木材, (株)橋市物産, (株)平金商店, 富士水工業(株), フルテック(株)盛岡支店, 盛岡ガス燃料(株), (株)ユアテックサービス岩手営業所, ライフテック(株)

8 内容

(1) 活動内容

つどいの 広場	開会式(9:00) 和太鼓発表 《みどり学園(9:00~)》 伝統さんさ踊り《元村こどもさんさ愛好会(9:20~9:45)》 ダブルダッチ《岩手県立大学 ROPE A DOPE(9:45~10:15)》 よさこい踊り《盛岡大学 もうかの星(11:30~12:00)》 フードコーナー(9:00~15:00) テンパークスタンプラリー(9:30~15:00) 遊びリンピック《午前の部(9:30~12:00)・午後の部(12:50~15:00)》 遊びリンピック表彰式《午前の部(12:30)・午後の部(15:15)》
グラウンド	ストラックアウト(9:30~15:00) スナッグゴルフ(9:30~15:00) グラウンド・ゴルフ(9:30~15:00)
体育館	一輪車演技と一輪車教室《イーハトーヴ(10:20~11:40)》
ホール	紙ひこうきを飛ばそう!《フリースペース(9:00~15:00)》
研修室	七宝焼(9:00~15:00) チャグチャグ絵馬(9:00~15:00) あけびつるクラフト①(9:00~12:00) ②(13:00~15:00)
曲り家	昔の話を聞いてみよう①(11:00~11:30) ②(13:15~13:45) 草木染め①(10:30~12:00) ②(13:00~14:30)
曲り家周辺	チャグチャグ馬コ(10:00~14:00)

(2) 指導者

あけびつるクラフト	国立岩手山青少年交流の家	創作活動指導員	田中 潔 氏
チャグチャグ馬コ		創作活動指導員	階幸 幸男 氏
草木染め		創作活動指導員	西田 宏子 氏
昔の話を聞いてみよう		指導員	太田 トミエ 氏
		指導員	斉藤 桃江 氏
遊びリンピック	国立花山青少年自然の家	事業推進係	曾根 正幸 氏
	国立磐梯青少年交流の家	企画指導専門職	齋藤 真二 氏
	国立那須甲子青少年自然の家	事業推進係	高橋 知也 氏
	岩手県立県北青少年の家	指導員	吉田 智 氏
七宝焼き		班長	菊池 佳恵 氏
	岩手県立県南青少年の家	指導員	高木 貞子 氏
チャグチャグ馬コ		馬主	斉藤 貞雄 氏

(3) 企画のポイント

- ① 遊びリンピックの3種目の会場をつどいの広場で実施することで、来場者が参加しやすいようにした。
- ② 地元の滝沢市に古くから伝わる伝統さんさの子供たちによる発表や、岩手県立大学学生によるダブルダッチ、盛岡大学学生よさこい踊りのステージ発表を盛り込むことで、多様な来場者に楽しんでもらえるように配慮した。
- ③ 貧困対策（生活・自立支援キャンプ）で実施している「タートルズ キャンプ～自立支援が必要な子どもたちのチャレンジタイム～」において連携している1つの児童養護施設の子供たちに、日頃練習している和太鼓の発表の場を設定した。
- ④ 体育館において、一輪車による華麗な演技を発表し、その後、一輪車教室を設定したことにより、多くの子供たちが一輪車を楽しむことができた。
- ⑤ 特別ゲストとして、文化庁から「選択無形民俗文化財」に選択され「残したい日本の音風景 100選」にも環境省から選出されている滝沢市の指定文化財チャグチャグ馬コを滝沢市商工観光課、チャグチャグ馬コ同好会滝沢支部の協力を得て招いた。

(4) 広報のポイント

盛岡市、滝沢市、紫波町、矢巾町、八幡平市、雫石町の全小学校と盛岡市、八幡平市、滝沢市の幼稚園と保育園にチラシを送付した。地域情報誌、HPへの掲載を行った。

9 成果とその普及

当日は、施設ボランティアや社会教育実習生を含め約80名のスタッフで運営し、幼児から高齢者まで多くの来場者が楽しんで活動していた。参加者からは「毎年楽しみにしています。」「ボランティアスタッフの方たちが子供にも大人にも大変快い対応で感心しました。」「この機会にたくさん子供たちに色々な経験をさせたいと思いました。」「来年もまた来ます。」等の感想を頂いた。このことにより、施設の理解と利用促進を図ると共に岩手県民の元気回復に寄与するという当初の目的を達成できたと考える。

特別ゲストとして、文化庁から「選択無形民俗文化財」に選択され「残したい日本の音風景 100選」にも環境省から選出されている滝沢市の指定文化財チャグチャグ馬コを招いた。チャグチャグ馬コにはめつたに乘れないのだが、馬主の方の配慮により、子供を馬の背に乗せて曲り家周辺を歩いたので、この機会にチャグチャグ馬コに乗ろうという子供たちの長蛇の列ができた。今年度は、「遊びリンピック」をつどいの広場で行い、「幼児～3年生部門」「4年生～6年生部門」「中学生以上部門」を午前と午後それぞれ上位3名の表彰を行った。貧困対策（生活・自立支援キャンプ）「タートルズ キャンプ～自立支援が必要な子どもたちのチャレンジタイム～」の児童養護施設の子供たちの発表も、多くの来場者に見てもらうことで、自己肯定感につながったと思われる。また、東北の国立4施設や県立2施設と連携することで、指導方法や運営方法の情報交換を行うことができた。今年度は、協賛として22社を得ることができた。また、連携機関16カ所その他、当施設の活動プログラム登録指導者の協力を得て実施したことにより、各連携先との関係が深められた。

10 今後の課題

今後もより多くの参加者を対象に質の高い内容を提供するためには、活動プログラムの開発とイベント内容の精査、ボランティアスタッフのスキルアップが重要であると考えます。

アンケート結果によると、初めて参加したと言う方が74%だったので、初めて訪れた方々がまた足を運んでくれるような内容を盛り込んだイベントと、地域に向けた広報活動の充実を図っていききたい。また、盛岡大学・岩手県立大学の学生サークル、地元滝沢市の一輪車演技や伝統さんさ踊りのステージ発表は質も高く参加者からも好評であった。これからも、学生や地域の子供たちの活動発表の場としての役割も積極的に担っていききたい。



遊びリンピック ゐろ目だし



ストラックアウト



「ROPE A DOPE」によるダブルダッチ体験



「もうかの星」によるよさこい踊り



「イーハトーヴ」による一輪車演技と一輪車教室



特別ゲスト チャグチャグ馬コ



創作体験「チャグチャグ馬っこ」



昔の話を聞いてみよう



遊びリンピック 表彰式